

単元計画図（中学校第1学年）

教師が主導し、基本動作と基本となる技を学ぶとともに、対話的な活動をする場面を設定する。

技の学び方を身につけ、自主的・対話的な学習を進める基礎をつくる。

単元の展開
授業の展開

時間	はじめ	なか①					なか②		まとめ	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0分	・オリエンテーション	本時のねらい、準備運動、体ほぐしの運動（相撲遊び）								
50分	◇単元目標、学習の仕方	基本動作 ◇蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え ◇腰割り、四股 ◇運び足 ◇仕切り、簡易的な立ち合い ◇受け身								
	◇基本知識 歴史、特性、礼法、用具	基本となる技 ◇押し ◇寄り ◇その関連技術※ ・技の練習法 ◇反復練習 ◇約束練習 ◇自由練習 ※グループでの課題解決型の学習活動								
	◇体ほぐしの運動（相撲遊び）	簡易的な試合 ・基本となる技を用いた相撲 ◇陣取り相撲 ◇押し合い相撲 ◇寄り合い相撲 ◇技を限定した相撲 ・簡易ルールでの試合 ◇体格別個人戦 ◇団体戦（3～9人制）								
		整理運動、教師による評価（生徒による自己・相互評価）								
										学習のまとめ ・ミーティング ・単元の成果の確認 テスト 相互評価 ・次の単元に向けた課題の明確化

※関連技術
相手の動きに応じながら、技を有効にするための諸技術

- 押しの関連技術
低い姿勢から押し上げる。脇をしめる。背中を丸める。
- 寄りの関連技術
下手は深く取り、上手は浅く取る。差した側の腕を返す。下手側に寄る。吊り寄り。がぶり寄り
- 出し投げの関連技術
前へ出て相手に圧力をかけてから投げる。相手が踏ん張ったところで体を開いてを投げる。投げを打った後、さらに前へ出る。

基本となる技を学ぶことができるように工夫する。

既習技を用いて、試合を経験する中で、相撲の楽しさを学ぶことができるように配慮する。

単元計画図（中学校第2学年）

つまずきに気づき、課題解決学習を行うことで、新たな技を身につけていく学習の基礎をつくる。

それぞれの課題を見つけ、自主的・対話的に学習できるようにする。

単元の展開
授業の展開

時間	はじめ	なか①				なか②			まとめ		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
0分	・オリエンテーション	本時のねらい、準備運動、体ほぐしの運動（相撲遊び）									
	◇単元目標、学習のし方	基本動作				◇蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え ◇腰割り、四股、運び足 ◇仕切り、簡易的な立ち合い ◇受け身					
	◇基本知識の確認 歴史、特性、礼法、用具	基本となる技				◇基本となる技とその関連技術※ ◇押しとその関連技術 ◇寄りとその関連技術 ◇いなし ◇出し投げ			◇技の練習方法> 約束練習 反復練習 自由練習		※グループでの自主的・対話的な課題解決型の学習活動
	◇体ほぐしの運動（相撲遊び）	簡易的な試合				◇基本となる技を用いた相撲 ◇既習技を用いた相撲			◇簡易ルールでの試合（例） ◇個人戦（リーグ戦・トーナメント戦） ◇習熟度別個人戦（リーグ戦・トーナメント戦） ◇団体戦（3～9人制）		
50分		整理運動、教師による評価（生徒による自己・相互評価）							学習のまとめ ・ミーティング ・単元の成果の確認 テスト 相互評価 ・次の単元に向けた課題の明確化		

基本となる技を確認しながら、相撲を楽しむことができるようにする。

既習技を用いて、異なる形式での試合を経験する中で、自ら相撲を楽しむことができるようにする。

単元計画図（中学校第3学年）

